

令和8年度 西浅井中学校 学校経営管理全体計画

校訓 自琢（自分を磨く）

生徒・学校の実態

- ・温厚で素直、行事等に積極的に参加できる。
- ・地域のボランティア活動に意欲的に参加している。
- ・生徒同士の評価が固定しやすいため、自尊心が低い生徒の割合が高い。
- ・一定時間集中して話を聞く態度に課題がある生徒が微増傾向にある。

学校教育目標

『すすんで学び、心豊かに、地域とともにたくましく生きる生徒』の育成

目指す生徒像

- ・主体的に学び、深く考える生徒
- ・自ら鍛え、可能性を拓く生徒
- ・互いを認め合い、高めあう生徒

目指す学校像

- ・笑顔で挨拶を交わし、温もりのある学校
- ・一人ひとりが認められ、大切にされる学校
- ・地域と共に歩み、地域に開かれた学校

保護者・地域の願い

- ・意欲的に進んで学習に取り組んでほしい。
- ・互いの違いを尊重し、温かい心で接することのできる生徒に育ててほしい。(いじめのない学校)
- ・西浅井地域の豊かな自然や伝統文化を大切に、誇りを持って学ぶ生徒であってほしい。
- ・安全な生活を送ってほしい。(登下校の安全、SNS等の利用)

教師の姿勢 『原点に立ち返って!』

- ・成長に感動し、共感する〈感動と共感〉
- ・教師自ら学び、感じ取る〈挑戦と感性〉
- ・常に周りに感謝する〈気づき・感謝〉
- ・お互いの得意を生かす〈協働〉

特色ある学校経営 『笑顔と感動あふれる西浅井中』

○「学ぶ喜びを感じる授業」の実践

- ・「対話」による主体的学習で学力の向上をめざす。
- ・深く考え、表現力を高める授業を実践する。

○自尊心を高める「ふるさと学習」

- ・西浅井の「歴史・人・自然」のすばらしさを学び、生まれ育ったふるさに感謝の気持ちと誇りを持たせる。
- ・ボランティア活動を推進し地域に貢献する喜びを感じさせる。

○生徒が主体となった学校づくり

- ・生徒が課題に気づき、自ら解決する力を育成する指導(仕掛け)を実践する。

校内研究

R8年度 研究主題

「すすんで学びに向かう生徒の育成」
～『ウェルビーイング』を向上させる
自己調整学習サイクルの推進～

重点目標・具体的取組

学校経営の重点 ～ 「これまでも、これからも」 笑顔と感動あふれる西浅井中学校 ～				
ふるさと学習「郷土愛」	自己調整学習の推進「やる気」	心のかよう集団 「笑顔」	授業改善 「わかる」「楽しい」	つながる力・かかわる力「絆」
<ul style="list-style-type: none"> ○郷土の豊かな自然や歴史から学ぶ本校独自の地域学習 ・山門水源の森を守る環境学習 ☆「ユネスコスクール」の継承と発展 ○中学生が主体となり、地域の方々とふれあい、協力し、創りあげるボランティア活動の推進 ・奥びわ湖スポーツクラブ、西浅井まちづくりセンター、地域ボランティアとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○自律した学び(個別最適な学び)の育成と、ともに学ぶ(協働的な学び)学習習慣の定着 ○目指すゴールや学び方を自ら選び会得する力をつける(学びのPDCAサイクルの推進) ○意欲を高め、積み重ねる家庭学習の工夫～「やってるふり」、「やったふり」からの脱却～(自主学習ノートの取組強化) 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全な学校環境づくりの推進(いじめは絶対許さないという意識の確立) ○積極的な生徒会活動の推進 ・生徒が主体の体育大会、文化祭 ・生徒自らが考え、行動する場づくり ・リーダー、フォロワーの育成 ○親和的でまとまりのある学級づくり ○体験に基づく道德教育の推進 ○目にも心にも美しい環境づくり ○心を耕す読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○数値目標:学校評価アンケートで「授業がわかる・楽しい」と答える生徒が8割以上になることを目指す 3つのキーワード(生徒・教師) ① 「しっかり話を聞く」(聞きたいと思える授業) ② 「意欲的に発表・活動する」(すすんで参加したくなる授業) ③ 「学び合う・教え合う」(他人と交流したくなる授業) 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生がリーダーシップを発揮した温かい学校風土の醸成 ・生徒会と児童会の連携協力 ○小中学校の助け合い、協力によるチーム性の高い学校づくり ・小学校と協力して新しいふるさと学習、キャリア教育を構築 ・小学校PTA、小学校学校運営協議会との連携協力 ○地域に開かれた学校づくり ・園小中の連携推進